



基礎編① 主語と述語



最初に学習をするのは、主語と述語です。二文節の文章から入るので小学生の低学年から始められます。日本語では、基本的に述語を最後にもってきますので、「い」では述語→主語の順番で進めていきます。まずは、述語を書こうが「誰が」「何が」「何を」「どこ」「いつ」を覚えて、主語を書こうとせよ。文章は少し長くはなりますが、スムーズにこの述語に対して「い」の主語をなつていきます。

- 1 二文節の主語と述語 4
- 2 三文節の主語と述語 6
- 3 主語と述語をつなげて文章を書く 9
- 4 主語と述語をつなげて文章を書く 12
- 5 主語と述語をつなげて文章を書く 15

基礎編② 助詞



文章に助詞(「に」「を」「は」「が」)を入れていく学習です。「い」では語句の順番を入れ替えていませんで、そのまま助詞をいれると文章が完成するようになっています。低学年のうちからしっかりと助詞を学ぶことで、文が長くなっても接続せしむ書けるようになっています。

- 1 主語と述語の助詞 20
- 2 三文節の助詞 23
- 3 三文節以上の助詞 26
- 4 三文節以上の助詞 30

基礎編③ 接続詞



小学校の国語での接続詞問題の大半は、前後の一文を丁寧に読むと解けるようになっていきます。したがって、接続詞問題が苦手だということは、接続詞を入れる前後一文がしっかりと読めてないということです。多くの問題集では接続詞問題は記号形式になっていますが、「い」では、文章をしっかりと読むため

に、全文の記号形式から始めていきます。

- 1 「だから」「しかし」「が」「を」 34
- 2 「そのうえ」「そして」 34
- 3 一文を二文に分ける 45
- 4 記号問題 49

基礎編⑤ 間違え直し



「間違え直し」では、よくある日本語の間違いを直しながら、正しい日本語を書く訓練を積んでいきます。学校では習わないことも多く含まれているため、各章の冒頭には説明をつけてあります。冒頭の説明をよく読んで、進めましょう。

- 1 「ひ」抜き・「ご」抜き 68
- 2 正しいカタカナの使い方 72
- 3 漢数字とひらがな 76
- 4 接続詞の間違い 80

基礎編④ 指示語



文章が長くなっていくと、指示語が必要です。文章の論理関係を把握するには、この指示語を理解していなければなりません。「い」では、国語の苦手な子でも学習しやすいように短い文章での指示語を学習していきます。また、指示語がなにを表すかを覚える際、語尾にも注意を払っていきます。

- 1 二文の指示語 53
- 2 一文の指示語 56
- 3 語尾まで自分で考える 61
- 4 少し長い文章での指示語 64

